

さくぎ町民だより



発行 (一社) 作木町自治連合会

三次市作木町下作木905-2 文化センターさくぎ

TEL 0824-55-2115 FAX 0824-55-7010

メールアドレス bs.sakugi@pl.pionet.ne.jp



ホームページQR

冬の常清滝

3月号

作木町まちなびビジョン 策定

このビジョンは令和8年4月から令和13年3月までの5年間のめざすべきまちづくりの計画です。

今回のビジョンづくりは上・中・下地区から各1名の住民の皆さんと三次市作木支所、自治連関係者で構成している策定委員会において策定されました。

ビジョンの基本理念は「人と地域のつながりを大切にして、お互いが支え合い、まちづくりの課題を自らの事として捉え、いつまでも住み続けたいまち作木に取り組む」めざすべき姿は「住みよい町! さくぎ」です。このビジョンは、作木町の皆さまが生活を楽しみ、安全で安心な暮らしを営み、大切な資源である自然や文化を将来につなげていくこととこれからの住民活動のきっかけづくりを主な目的としています。

現在ビジョンのパンフレットを作成中です。完成後は町民の皆さまに配付いたしますのでどうぞご覧ください。

いきかた講座第2弾を開催

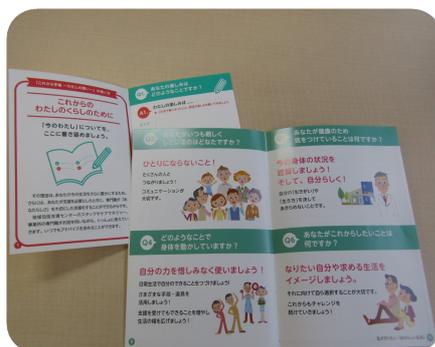
2月12日(木)文化センターさくぎで開催しました。当日は、各自治区から区長や一般住民、自治連役員など20名が参加し、作木診療所の佐古先生をはじめ、作木支所の備後保健師、包括支援センターや社協、自治連の担当者が主体となって、高齢者の自立支援のために開発された「これから手帳」を活用して「私の楽しみ」「日頃の健康づくり」「これからしたいこと」などをテーマに4グループに分かれ、参加者同士でそれぞれの考えを発表し合いました。



参加者は他の参加者の話を聞くことで、新たなひらめきが生まれたり、これからのしたいことについての参考になったと満足そうでした。

講座の中では、佐古先生から「こうした話し合いにより、人とつながることで長生きにつながる。健康に良いのでこうした話し合いの機会を続けてほしい」と、また備後保健師からは「皆さんは地域を支える人材となる人たちであり健康が第一。運動や食事などの生活習慣に気をつけてほしい」などと生活面での

アドバイスや、最後に今後、こうした機会を増やしていきたいので、地域の皆さんにも協力してほしい」と呼びかけが行なわれました。



卒業おめでとうメッセージです

3月6日(金) 作木中学校において、第79回卒業証書授与式が行われました。

卒業生の皆さん、おめでとうございます。これからそれぞれの進路でがんばってください。

作木町内の卒業生のみなさん

- 岡田理央那さん(上作木)
- 棧敷 光さん(香淀)
- 田中 斗真さん(大山)
- 田部 一颯さん(門田)
- 峠 陸斗さん(下作木)
- 原田 大暉さん(下作木)
- 藤岡 久翔さん(大津)
- 元國 陸斗さん(下作木)
- 守岡 将翔さん(光守)
- 矢上 夏未さん(香淀)
- 山口 侑里さん(森山中)
- 山根 莉愛さん(上作木)
- 山本 茜莉さん(下作木)
- 湯浅 泰空さん(森山西)



作木小学校体育館利用ができます

昨年10月下旬から、天井改修工事により体育館を休館としており、町民の皆さまには大変ご不便をおかけいたしました。

この度、工事が完了し、利用が可能となりましたので、どうぞご利用ください。

ご利用される場合は、前日までに(一社)作木町自治連合会(電話5512115)へお申込みください。

とんどで交流

上作木区

上作木区新年初の区活動を、1月11日(日)に、寒波到来の日でしたがとんどを行いました。しかし、前日には数人から「明日は天候が大変だからと、来週に変更しようや」との声がありました。考えてみれば、女性部の段取りがしてあるため、強行ではありましたが、少々の雪や寒さには慣れていいるから、皆さんと何とか、一年間の無病息災を願ひ無事済ませました。

(福島 一若)



とんど焼きと区民の集い

北部区

1月18日(日)北部区では「とんど焼きと区民の集い」を開催しました。開催案内文には「近所に居ながら〇〇さん久しく顔を見ないよねー」のフレーズを入れて回覧したところ50名の皆さんに参加頂きました。

当日、男性は近くの山林から孟宗竹を7本程度切り出し、慣れた手つきで見ると見るうちに高さ約10メートルほどの立派なとんどを作り上げ、一方、女性陣は、豚汁の食材加工を前日夜に



行い、当日は早朝から絶品の豚汁作りに奮闘して頂きました。今年の年男と年女の6名がとんどの火入れを行い、一発でうまく火が入り、晴れた空に勢いよく炎が上がると、参加者から歓声が上がりました。その後、集会所に移動して用意した弁当と豚汁、そして、八幡宮のお供え餅をとんどの炭火で焼き、きな粉餅など食べながら、日頃区内でもご無沙汰している区民の皆さん同士で、和気あいあいと話が進んだ集いとなりました。

区民・役員も高齢化が進む中ではありますが、区民の皆さんが気軽に参加頂ける行事を今後も計画したいと考えています。(竹丸 英司)



小中学校再配置計画についてお知らせ

町民日より1月号に続いて学校再配置計画について状況をお知らせします。

○これまでの状況

昨年3月、三次市教育委員会が作成した市立小中学校の再編計画案が中国新聞に発表されました。

その内容は、作木小学校を令和10年4月に三次小学校へ、作木中学校は令和9年4月に三次中学校へ統合するということです。

地元への事前説明はありませんでした。

5月、山村開発センターで、教育委員会がこの再配置計画について説明を行いました。出席した住民からはさまざまな質問や、通学時間が長すぎる（特に下地区）、学校がなくなると地域がさびれるなどの意見が出されました。

8月、作木町のまちづくりトークで、教育長から検討状況の説明がありました。その後は数回にわたって、作木小・中学校の保護者に教育委員会から説明が行なわれてきました。

（本紙1月号に教育委員会の説明概要を掲載しています。）

本年1月には、町内の有志で「学校と地域づくりを考える会」という団体が結成され、学校を作木に残すことと、地域総ぐるみで子どもを育む体制を充実させることを目的に活動されています。

○再編に関する問題

再編すると通学にはスクールバスが運行されます。

下地区は自治交流センター「めんがめ」が発着場所となつていますが、自宅から小学校までの通学時間は遠距離児童の場合1時間30分前後の長時間となるため、児童や家庭の負担が大きくなります。

これは、通学時間は概ね1時間以内という国が定める一定の基準を大幅に超過するものです。

教育委員会が示した再配置計画では、一定の児童数を確保することを最優先にしており、通学時間の問題に対する根本的な対策が示されていません。

このため、遠距離通学児童にとっては負担が大きく教育条件が悪化するものがあると云わざるを得ません。

また、学校のない地域の人口減少は著しいことから、作木町がさびれて衰退することが懸念されます。

中学校については、部活の面から再配置はやむを得ないとの意見もあります。

○これからの方向

自治連合会は保護者の意向を最優先と受け止めており、なるべく多くの保護者のご意見や思いをお聞きして、十分考慮しながら、再配置に賛成か反対かの判断をすべきと考えています。

また「学校と地域づくりを考える会」とも意見交換を行いながら、作木の子どもの学び環境が整うよう取り組んでまいります。

町民の皆さま、この再配置計画についてご意見などありましたら、自治連合会にお寄せください。



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年10月より行ってまいりました赤い羽根共同募金につきましては、多くの皆さまのご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

皆さまからの募金の約7割は作木町に還元され、町内で福祉活動をされる団体等が活動資金として活用されています。残りの約3割は広島県内の福祉施設等の活動資金や災害準備金として活用されます。ご協力ありがとうございました。

令和7年度 共同募金実績 令和8年2月10日現在は下記のとおりです。

戸別募金 321,900円 街頭募金 54,400円 職域募金 35,014円 その他 43,888円

合計 455,202円

※街頭募金・・・さくぎふるさとまつり会場における募金

※職域募金・・・バッジ募金や募金箱等

※その他・・・カープカレンダー54本、せせらぎの里前にある共同募金の自動販売機

三次市共同募金委員会作木分会 分会長 瀧奥 祥二郎

三次市社会福祉協議会 作木支所



町内一斉清掃と河川清掃にご協力をお願いします

日時 4月5日(日)
午前7時30分から
1時間程度

内容 各地域の道路清掃
と河川清掃

主催 作木地区公衆衛生
推進協議会

事務局(一社) 作木町
自治連合会

- 燃やせるごみ (白色に緑字の袋)
- 燃やせないごみ (透明に赤字の袋)
- 埋め立て・有害ごみ (透明に茶色字の袋)

集合場所および、分別の細かい内容は、各自治区長から連絡があります。
河川清掃は足元に注意して作業を行ってください。
この事業については、作木地区公衆衛生推進協議会から自治区へ活動費を支援します。

注意事項

※燃やせるごみの袋に空き缶やビンは入れないでください。
※ごみ袋にマジックで「一斉清掃」と必ずご記入ください。張り紙でも良いです。記入がなく分別されていない場合は回収されません。
※今回は一斉清掃用の分別です。通常の分別方法と異なりますのでご注意ください。
※収集日に通常のごみが多いときは、次回の収集になることをご了承ください。



作木消防から「火災が多発しています！」

毎年この時季は、空気が乾燥し、風も強くなることから、火災が発生しやすい気象状況が続きます。備北消防管内でも日中過ごしやすい気温になった2月中旬頃からは、野焼きやごみ焼きによる火災が多発しています。

屋外で火を取り扱う際には、気象状況を確認し、完全に火を消してからその場を離れるようにしましょう。また、3月1日から7日まで春の全国火災予防運動が実施されます。各家庭におかれましても、火の取り扱いには十分注意していただきますようよろしくお願いいたします。

火災・救急の件数

- 1月 火災1件・救急2件
- 2月 火災0件・救急4件

◎火災・救急のときは119番

三次消防署作木出張所 Tel55-3109

消防団作木方面隊 林野火災想定訓練



3月1日(日)光守地区において消防団作木方面隊と三次消防署作木出張所合同で訓練が行われました。
当日は、林野火災を想定した消火訓練に、団員約30名が参加しました。これからは空気が感想し、風が強い日が多くなります。町民の皆さま、火の取り扱いに十分気を付けてください。

次回の町民だよりは4月に発行します

三次の住まいの相談室 しんわホーム

- リフォーム・新築・増築
- 給排水工事・電気設備工事

- 土地・建物の賃貸売買
- 宅地造成・維持修繕

フリーダイヤル 0120-344-130

定休日 日曜日 営業時間 9:00 ~ 18:00

